

実証事例の概要

- ・ 実証年度：令和4年度
- ・ 実証場所：淡路市
- ・ 経営体名：I農園
- ・ 栽培作物：小ギク
- ・ 実証面積：5a

実証・導入の目的

- 中山間地域における小面積の小ギク栽培には多くの労力を要する。中でも防除作業は週1~2回必要な時期もあり負担が大きい。
- 昨年度の実証で作業効率とコストが割高になったことから、今年度は少量散布（40L/10a）した際の防除効果とコスト等を確認した。

実証・導入した技術

- ・ 技術内容：農業用ドローンによる防除
- ・ メーカー名（商品名等）：
DJI JAPAN (MG-1)



・ 慣行：手散布の様子



・ ドローン防除の様子

取り組みの効果・今後の展望

- 散布時間
慣行より52%短縮できた。
- 農薬付着率と防除効果
慣行と同程度の付着率となり、慣行と同様にアザミウマ類の発生はなかった。
- コスト比較
機体の導入コストが高額なため、慣行と同程度のコストで作業するには2ha以上の面積が必要。土地利用型作物との複合経営も有効だと考えられる。

☆対象病害虫を増やして防除効果を中心にデータの蓄積を進める。